

中学校第2学年 音楽科学習指導案

1 題材名 長唄の歌唱や歌舞伎の鑑賞を通して、日本の伝統音楽のよさを味わおう

2 教材 歌舞伎「勸進帳」 三世並木五瓶 作 四世杵屋六三郎 作曲
長唄「勸進帳」

3 題材設定の趣旨

「音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う」という目標が現行学習指導要領に示されており、音楽文化についての理解を深めることが規定されている。表現領域においては曲種に応じた発声で歌うこと、鑑賞領域においては音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連して理解すること、我が国や郷土の伝統音楽の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解することが提示されている。現代は、いろいろな媒体を活用し、あらゆる音楽を耳にすることが可能である。そのような時代に、平成29年3月に示された新学習指導要領では、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽と豊かに関わる資質・能力を育成することが求められるようになった。

本題材では、歌舞伎を鑑賞するという鑑賞領域と長唄を歌うという表現領域を関連させながら学習できる歌舞伎「勸進帳」を教材とした。安宅の関での関守「富樫左衛門」と「義経」をかばう「弁慶」の問答が見どころである歌舞伎十八番の「勸進帳」は、その舞台となる時代背景や登場人物については歴史の授業でも学習しているため、生徒にとって把握しやすい物語の内容であると考えられる。また、この教材で、生徒たちが現代の音楽文化と比較しながら歌舞伎が草創された時代背景を理解したり、なぜその音楽が流行し現代まで受け継がれているかを考察したりし、歌舞伎を学習させたい。そのような学習を実現するに当たって、教材に「勸進帳」を用いることにより、歌舞伎という音楽劇を表現及び鑑賞の両面から学習させ、音楽文化と豊かに関わる生徒を育成したいと考える。

本学級の生徒への「日本の伝統音楽への興味・関心について」のアンケート結果は、次の通りである。(アンケート実施日…9月6日)

- ① あなたが「歌舞伎」と聞いて、知っていることやイメージすることはありますか。
「ある」と答えた生徒は74%
- ② あなたは「長唄」という言葉を聞いたことがありますか。
「ある」と答えた生徒は3%
- ③ 「長唄」という音楽を、これまでに聴いたことがありますか。
(長唄鑑賞後、回答) 「ある」と答えた生徒は6%

生徒は、1年生の時に箏曲「六段の調」を学習している。そのため「日本の伝統音楽」と聞いて思いつくものには、箏、尺八、三味線等の和楽器を挙げている生徒が多かった。また、盆踊り等の地域の祭を挙げている生徒もいた。「歌舞伎」と聞いてイメージすることには、テレビや映画で活躍している歌舞伎役者の名前及び隈取や見得等の外見を挙げた回答が多かった。このように「歌舞伎」と聞いて思い浮かぶものはあるようだが、「長唄」については知らない生徒がほとんどだった。長唄を聴いたことがあると答えた生徒は、テレビ番組を通しての経験であり、実際に生演奏を聴いたことがある生徒はいなかった。しかし、長唄鑑賞後の「このような音楽を聴いて、どのように感じますか。」という質問には、声や楽器の音色、音階等の旋律、日本の伝統音楽における「間」等を知覚した回答や「和を感じる」や「昔の音楽」という回答があった。声に関しては「響いている」「きれいだ」「おもしろい」と好意的に感じている生徒がいる反面、「キーキーした声でうるさい」「つまらない」とマイナスイメージをもった生徒もいた。これらの回答は、これまでの学習や生活経験を基にした生徒なりの価値観で答えていると思われる。

以上の調査結果を踏まえ、指導に当たっては、生徒が歌舞伎に出てくる長唄の旋律や音色、間を知覚したり、生徒が今まで歌ってきた西洋的な発声と比較したりしながら長唄を歌わせたい。長唄を歌う学習活動を通して生み出された歌舞伎のよさや面白さ、特質や雰囲気を感じたことを他者と共有したり、歌舞伎が草創、確立された当時の時代背景を学習したりできるように、鑑賞や歌唱の学習活動の組合せを工夫したい。また、鑑賞、歌唱した後の話合いの場面では音楽を聴いたり口ずさんだりしながら、生徒が根拠をもって意見交換ができるよう配慮し、生徒にとっての音楽の価値を考えさせていきたい。

4 題材の目標

- 歌舞伎についての知識や長唄を歌う技能を習得し、活用しながら、音楽表現を工夫したり、よさや美しさを味わって聴いたり、時代背景等と関連付けたりする学習に主体的に取り組む。
- 長唄を歌う声の音色や旋律の特徴を知覚し、その働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした表現を工夫する。
- 長唄の発声、発音、身体の使用方等の技能を身に付けて歌う。
- 音楽を形づくっている声や楽器の音色・旋律、日本の伝統音楽における「間」を知覚し、それらの働きが生み出すよさや面白さ、特質や雰囲気を感じながら、背景となる文化や歴史と関連付けたり、その音楽の価値を考えたりして鑑賞する。

5 題材の評価規準

音楽への関心・意欲・態度	音楽表現の創意工夫	音楽表現の技能	鑑賞の能力
① 歌舞伎についての知識や長唄を歌う技能を習得しながら活用する学習に主体的に取り組もうとしている。 ② 歌舞伎の音楽のよさや美しさを味わって聴いたり、時代背景や人々の暮らしと関連付けたりする学習に主体的に取り組もうとしている。	・ 声の音色や長唄の旋律の特徴を知覚し、その働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら、長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした表現を工夫している。	・ 長唄の発声、発音、身体の使用方などの技能を身に付けて歌っている。	① 長唄における声や楽器の音色、旋律、日本の伝統音楽における間を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。 ② 歌舞伎の音楽の背景となる文化や歴史と関連付けたり、その音楽の価値を考えたりして鑑賞している。

6 本題材で位置付ける〔共通事項〕

〔共通事項〕		本題材における具体の姿
ア	音色	長唄を歌っている声の音色 三味線や囃子に使われている楽器の音色
	旋律	長唄の音の高低、言葉の抑揚、産字、唄い尻
イ	間	長唄の中のフレーズの間 セリフ回し

7 題材の指導（全3時間）と評価の計画

時	◆ねらい ○学習内容 ・学習活動	●評価規準	・評価方法
第1時	◆長唄のよさや美しさを味わう学習に主体的に取り組む。 ◆長唄の発声、発音、身体の使用方などの技能を身に付けて歌う。 ○事前アンケートを基に、長唄を聴取したことを想起し、長唄を聴いて気付いたことや感じたことを共有する。	●歌舞伎についての知識や長唄を歌う技能を習得しながら活用する学習に主体的に取り組もうとしている。 【関一①】	・観察 ・ワークシートの記述
	○歌舞伎「勸進帳」の冒頭の場面を視聴し、どのような場面かを想像する。 ・知覚・感受したことを発表する。 ・登場人物や舞台となっている場所、時代を確認する。 ○長唄「勸進帳」の「これやこの～山かくす」を視聴する。 ・DVDの模範演奏を視聴し、気付きをワークシートに記入する。 ・気付きをグループや全体で共有し、長唄の特徴をつかむ。		

	<p>○長唄「勸進帳」の「これやこの～山かくす」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長唄の特徴を生かし、歌詞や楽譜を参考にしながら、DVDやCDに合わせて歌う。 	<p>●長唄の発声、発音、身体 の使い方などの技能を身に付けて歌っている。</p> <p>【技】</p>	<p>・観察</p>
第2時	◆歌舞伎の特徴を理解し、歌舞伎のよさや面白さ、雰囲気を感じ取る。		
	<p>○前時を想起しながら、長唄を歌う。</p> <p>○歌舞伎の概要について知る。</p> <p>○歌舞伎「勸進帳」を視聴する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌舞伎「勸進帳」を視聴後、音楽や演技について気付いたことを記す。 ・気付きを意見交換する。 	<p>●歌舞伎の音楽のよさや美しさを味わって聴いたり、時代背景や人々の暮らしと関連付けたりする学習に主体的に取り組もうとしている。</p> <p>【関-②】</p> <p>●長唄における声や楽器の音色、旋律、日本の伝統音楽における間を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ受している。</p> <p>【鑑-①】</p>	<p>・観察</p> <p>・ワークシートの記述</p> <p>・観察</p> <p>・ワークシートの記述</p>
第3時	◆歌舞伎における長唄の音楽の役割や効果を考え、音楽の背景となる文化や歴史と結び付けたり、価値を考えたりしながら「勸進帳」を鑑賞する。		
	<p>○長唄「勸進帳」の「これやこの～山かくす」の部分の歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時までの長唄の歌唱について想起し、唱法や特徴に気を付けながら歌う。 <p>○歌舞伎における長唄の役割や効果を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞踊や演技の場面を視聴し、歌舞伎における長唄の役割や効果について考える。 ・長唄の役割や効果をワークシートに記入する。 ・各グループで意見交換をする。 ・話し合った内容を発表し、その発表内容を全体で共有する。 <p>○歌舞伎の音楽についてまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長唄を歌ったり歌舞伎を鑑賞したりして学習した歌舞伎の特徴やよさをまとめる。 	<p>●声の音色や長唄の旋律の特徴を知覚し、その働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受しながら、長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした表現を工夫している。</p> <p>【創】</p> <p>●歌舞伎の音楽の背景となる文化や歴史と関連付けたり、その音楽の価値を考えたりして鑑賞している。</p> <p>【鑑-②】</p>	<p>・観察</p> <p>・観察</p> <p>・ワークシートの記述</p>

8 本時の学習指導（3 / 3）

(1) 指導目標

歌舞伎における長唄の役割や効果について考えながら、歌舞伎の特徴を文化や歴史と関連付けたり、歌舞伎の価値を考えたりして鑑賞できるようにする。

(2) 指導の視点

- ・長唄の唱法や特徴を理解し、その一節を歌唱する活動は、歌舞伎における長唄の役割や効果を考えさせる上で有効であったか。
- ・交流活動を行う場面において、長唄を口ずさんだり聴取したりしながら話し合わせ、長唄や歌舞伎の特徴を掴ませたり、歌舞伎の背景となる文化や歴史と関連付けさせたりする等の手立ては、日本の伝統音楽のよさを味わわせたり、その価値を考えさせたりする学習において有効であったか。

(3) 指導過程

	学習活動	教師の指導・支援	評価等
導 入	1 前時までの学習内容を確認する。	・前時までのワークシートの記述内容を紹介し、前時の学習を想起させる。	
	2 本時のめあてを確認する。	・歌舞伎における長唄の役割や効果を考え、歌舞伎の特徴を歴史や文化と結び付けながら味わい、まとめることを伝える。	
歌舞伎における長唄の役割や効果について考え、歌舞伎の特徴をまとめよう			
展 開	3 長唄や歌舞伎の特徴を確認し、長唄「勸進帳」の「これやこの～山かくす」の部分で歌う。	・前時までの長唄の歌唱について、唱法や特徴に気を付けながら歌わせ、どうしてそのように歌うことが必要とされているか考えるよう促す。	●声の音色や長唄の旋律の特徴を知覚し、その働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、長唄にふさわしい声や言葉の特性を生かした表現を工夫している。 【創】〈観察〉
	4 歌舞伎における長唄の役割や効果について考える。 ・舞踊や演技の場面を視聴し、ワークシートに記入する。 ・各グループで意見交換をする。	・歌舞伎における長唄の役割や効果に着目するよう促す。 ・グループ内の意見交換で、長唄を口ずさんだり聴取したりしながら話し合ったり、全員	・おおむね満足(B)と判断する目安 長唄の歌唱においてふさわしい声や言葉の特性を生かした表現ができている。 ・(C)への支援 発声や旋律の抑揚についての特徴を確認するよう指示する。

	<ul style="list-style-type: none"> 話し合った内容を発表し，その発表内容を全体で共有しながら長唄の特徴を掴む。 	<p>が納得できることと納得できないことを分けて記述したりするよう伝える。</p>	
<p>ま と め</p>	<p>5 歌舞伎の音楽についてのまとめをする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 歌舞伎を鑑賞した学習内容と社会科の授業で学習している江戸時代の文化とを照らし合わせながら，当時の人々や現在の人々にとっての歌舞伎の音楽の価値を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歌舞伎の音楽の背景となる文化や歴史と関連付けたり，その音楽の価値を考えたりして歌舞伎を鑑賞している。 【鑑-②】〈観察，ワークシートの記述〉 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・おおむね満足(B)と判断する目安 歌舞伎を学習した内容と歴史で江戸時代の文化について学習した内容を照らし合わせながら，人々にとっての歌舞伎の価値を考えることができる。 ・(C)への支援 友達の発表や記述を参考にワークシートに加筆するよう指示する。 </div>